

科目名	人文学講読演習IV 1 1 - 1					単位	2.0
担当教員	権田 浩美						
授業形態	演習	開講期間	後期	配当年次	2	授業番号	4328

●授業のテーマ

中原中也と富永太郎の詩世界

●到達目標

日本の近代詩人の中でも最もポピュラーな詩人として知られる中原中也、そしてその中也や小林秀雄に影響を与えたことで知られる富永太郎。二人の詩人の詩世界に親しむことを通じて、言葉の豊かさや、詩の持つ魅力に触れ、詩を自身の感性と言葉によって「楽しく」鑑賞できるようにする。

●学習内容(授業概要)

NHKの子供向けTV番組をはじめ、教科書等においても親しまれている中原中也の詩の魅力は、深い抒情性と豊かな言葉の音楽性が交響してなされる〈うた〉にあり。一方、その中也に影響を与えた詩人画家・富永太郎は、硬質な抒情性をたたえる散文詩を得意とした。

一見すると、二人の詩人の詩世界に共通点はない。しかしながら、二人の詩人は共に〈宿命の女〉との恋愛・失恋体験を有していたり、また、当時移入が相次いでいた新興芸術からの影響を受けた芸術的概念を共有していたように思われる。その概念の受けとめかたの違いによって、二人の詩世界がかけ離れたもののように、思われるのだ。

それぞれの詩世界の成り立ちを、時代的な背景も踏まえて考え、受講者各々の感性と言葉による鑑賞ができるようになる喜びを体感してほしい。

●学習内容(授業計画)

〈後期〉

1. 授業のガイダンス
2. 中原中也と富永太郎の生涯
3. 新興芸術からの影響
4. サンボリズムの世界観
5. 〈プリミティヴ〉と〈名辞以前〉
6. 富永太郎の詩世界と演劇性
7. 中原中也の恋愛詩と『山羊の歌』の詩世界
8. 中原中也の〈道化〉の世界
9. 中原中也の〈小児〉と〈死児〉
10. 中原中也の詩世界・鑑賞その1
11. 中原中也の詩世界・鑑賞その2
12. 中原中也の詩世界・鑑賞その3
13. 中原中也の詩世界・鑑賞その4
14. 中原中也の詩世界・鑑賞その5
15. まとめ

* 授業の進度によって順序や取り扱う内容や作品をかえる場合があるので、予め了承されたい。

●準備学習・事後学習の内容

授業の際に指示する作品や資料を、次の授業時間までに必ず精読してくること。

また、適宜求める小レポートや感想などの課題に真摯に取り組み、必ず提出すること。

●成績評価方法・基準

出席状況や受60%

学期末の小テスト、あるいはレポート—40%

●テキスト（必携）

〈No.1〉書籍名：中原中也全詩集、著者名：中原中也、出版社：角川学芸出版（角川ソフィア文庫 360）、
販売先：(株)Do

●参考文献／その他

権田浩美著『空の歌—中原中也と富永太郎の現代性—』（翰林書房）の他は、適宜紹介する。

●履修上の注意

自分の発表の際はもちろん、他者の発表に際しても誠実かつ真摯に臨み、積極的に発言すること。